

令和7年度津地区医師会事業報告

はじめに

ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルと中東地域の紛争拡大、アメリカ大統領選挙でトランプ氏が再選され、経済政策により不安定な情勢が続いた年度でありました。我が国では、参議院選挙での自公敗退の中、日本医師会内候補者の釜范 敏先生が医療界の中でトップ当選を果たしました。また、石破 茂総理大臣辞任後に、高市早苗氏が女性初の内閣総理大臣に就任され、「維新の会」との連立政権が誕生しました。また、夏には40度を超える日々が続き、猛暑日というよりは酷暑の日々が続いたことや全国各地で熊の被害が続出したことは記憶に新しい出来事だと思います。明るい話題としては、大阪・関西万博の開催、大の里関の横綱昇進、米大リーグロサンゼルスドジャースがワールドチャンピオン連覇と山本由伸投手のワールドシリーズMVP、大谷翔平選手のナショナル・リーグ3年連続最優秀選手に輝いたこと、ノーベル生理学・医学賞に坂口志文氏、化学賞に北川 進氏が受賞されたことなどが挙げられます。

本年度医師会事業の主な事業を報告します。

救急医療対策事業については、一次救急に関しては、「津市応急クリニック」「津市こども応急クリニック・休日デンタルクリニック」とともに、順調に運営を行うことができました。11月からのインフルエンザ患者数の増加を踏まえ、年末年始の応急診療所を2診体制とし、スタッフも増員し、「一人の患者も断らない」というスタンスでスムーズな診療を行うことができました。二次救急医療体制は、三重大学附属病院も含めた8病院により、搬送困難事例は減少傾向にはありますが、専門分化や人手不足などの医療資源についての課題を克服しなければなりません。こども応急クリニックは、三重病院や三重大学附属病院小児科医のご協力により、運営できました。津市行政・津保健所・津市消防と問題点を共有しつつ、一次救急に関しましては、診療を担当された会員各位、そして、二次救急医療は各輪番病院や三重大学附属病院関係者皆様のご厚意により成り立っていることに感謝申し上げます。

市民健康広場は、11月9日中本耳鼻咽喉科院長 中本節夫先生に「難聴とフレイル そして補聴器」、三重県歯科衛生士会津支部 森下み先生に「口腔ケアとフレイル」の講演、健康測定などを実施し、91名の参加がありました。

災害対策事業は、11月23日香良洲高台防災公園において津市総合防災訓練が実施され、津市行政や地域住民、防災関係機関が一体となり、応急対応などについての訓練を実施しました。また、同日には会員皆様に安否確認メールを送り、45名からの回答を得ました。引き続き、津地区医師会災害メーリングリストにご登録活用のお願いと今後も訓練を重ねながら、LINEなどほかのツールの利用も検討しながら、回答数を増やしていくことが課題となっております。また、9月28日には、三重中央医療センターでの大規模災害訓練にも参加致しました。

広報事業は、「安の津医報」は、毎号滞りなく発刊できました。理事会資料のペーパーレス化に取り組んでおり、厚生労働省や日本医師会・県行政からのメールによる文書連絡が増えており、会員皆さまには是非、津地区医師会メーリングリストへの登録と共に、リニューアルされたホームページのご高覧を是非ともお願い致します。

特定健診・特定保健指導・各種がん検診・学校健診・母子保健・産業保健など様々な健診事業に対して、全ての世代の健康を守るために着実に実施できました。

看護学校事業に関しましては、受験者数が大幅に減少したことに対する検証を行い、オープンキャンパスを3回に増やしたこと、指定校推薦の見直しや入学試験の方法を改革した結果、出願者数94名まで持ち直すことができました。また、第115回看護師国家試験は卒業生36名全員合格を達成致しました。講師陣および実習先関連病院の皆様方に感謝申し上げます。

地域包括支援センター・介護支援・産業保健事業に関しましても例年通りの実績を上げて頂きました。

津地区医師会は、市民が健やかな生活を送ることができるように、生涯にわたり手助けを行うことで、国民皆保険を堅持しながら医療の恩恵を広く人々に還元することを目的として様々な事業を行ってきました。

公益事業としてⅠ．地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業 Ⅱ．看護専門学校事業Ⅲ．地域包括支援センター事業 Ⅳ．介護支援事業を執行してまいりました。これらの事業を滞りなく達成できたのは、会員各位のご理解・ご協力の賜物であると共に、日本医師会や三重県医師会との連携は勿論のこと、久居一志地区医師会・三重大学医師会・津歯科医師会・津薬剤師会・三重県看護協会そして津市行政機関との密接な関係を築くことできたからであります。

令和7年度事業報告にあたり会員各位はじめ関連団体の皆様、事務室関係各位のご支援・ご協力に改めまして感謝申し上げます。

それでは重点項目について、ご説明致します。

「特別重点項目」

1. 公益社団法人として市民の皆さまに向けた活動の展開
2. 救急医療体制の更なる充実
3. 大規模災害対策の推進
4. 新型コロナウイルスワクチン接種体制や医療事故対策に貢献する医療安全対策
5. 多職種連携を取り入れた「かかりつけ医（主治医）」の機能強化
6. 地域医療構想・地域包括ケア関連事業
7. 出産前後おやこ支援事業・子育て世代包括支援センター事業、就学に向けてスムーズに児童が入っていけるように支援するシステムの構築

Ⅰ 地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業

住民の健康を通して地域社会の健全な発展を進めるため、医師の研鑽により医学水準の向上を図る医学教育、住民の健康増進に直接かかわる健康啓発・広報、健（検）診、予防接種、母子保健、学校保健、救急医療対策、介護保険制度円滑化対策、地域連携対策、災害対策、医療安全対策、産業保健の他、住民の健康を守る対策等を協議する医療関係団体等連絡調整など様々な事業を実施いたしました。

【事業の概要】

（１）医学教育事業

質の高い医療を提供し、住民の健康増進に寄与するため日頃から医師の自己研鑽が必要である。そのため、最新の知識と技術を学ぶ場として、また、住民の健康保持・増進を図るための専門知識と技能を整理する場として日本医師会生涯教育制度を活用し、医学研修会・講演会・症例検討会を開催いたしました。

なお、久居一志地区医師会とは密接に連携し、医学研修会等を共催するとともに、三重大学医学部の専門教室と共催して医師だけでなく医療関係者を対象になるべく多くの受講機会と専門分野にわたる知識の研鑽の場を提供いたしました。

また、医療の高度化による各専門分野での医学研鑽の重要性から、当医師会の内部に診療科別の医会を設けて研究活動を実施いたしました。

（２）健康啓発・広報事業

市民を対象にした、健康づくりに関しての普及啓発事業を市民健康広場として、11月9日（日）に開催しました。健康啓発講演会や健康測定、健康相談等に市民の方が参加され好評を得ることができました。また毎月発行の「安の津医報」は会員への情報提供や会員同士のコミュニケーションツールとして、皆様のご協力を得てより内容豊富なものにしたいと考えています。津地区医師会ホームページでは、ペーパーレス化を推進するために、会員専用ページに充実化を図り、会員が必要とする情報を円滑に抽出する機能づくりに努めました。

(3) 健（検）診事業

津市から特定健康診査、健康増進法健康診査、後期高齢者健康診査、及び各種がん検診に係る事業を受託し、会員医療機関で検診を実施いたしました。令和元年より始めました胃癌検診の二重読影も、8年目になりました。今年度も、感染防止対策を十分行って対応されることをお願いいたします。また読影医もこれまで 通り三重大学医学部附属病院、三重中央医療センター、遠山病院の専門医の先生にお願いしております。津市が実施する糖尿病性腎症重症化予防事業に当地区医師会の糖尿病専門医・腎臓専門医が参画して未治療者、治療中断者を医療機関の受診へつなげることを目指し、医療機関と連携して保健指導を行い、重症化の予防を図ります。

今年度は、5月21日に胃がん検診、6月4日に乳がん検診、6月18日に肺がん検診の研修会を予定しております。がん検診を行う医療機関の先生は、必ず出席するか、出席できなかったときは、医師会にてDVDによる自己研修を行ってください。

(4) 予防接種事業

津市から「予防接種法」に基づく定期予防接種の事業を受託し、感染防止の対策を図るとともに予防接種事業を行う医療機関に対し安全で確実な予防接種を行うための研修を実施しました。医療事故の無いよう行政とともに啓発活動を行いました。

また、予防接種健康被害調査委員会にも委員として、2名が出席しております。今後は、定期予防接種でありながら接種率の低いHPVワクチン（子宮頸がんワクチン）の接種率の上昇を図るための啓蒙活動にも重点を置き、取り組みたいと考えています。

(5) 母子保健事業

津市が行う「母子保健法」に基づく1歳6か月及び3歳児健康診査の実施の際に小児科医師・耳鼻科医師を派遣し、適切な指導・助言を行うとともに、乳幼児に係る様々な課題を検討するため行政と定期的に検討会・勉強会を実施いたしました。

医師会主催の乳幼児健診委員会を定期的に開催しました。5歳児健診委員会は、住民の悉皆調査に向けて、活動を行っています。保健師・助産師・産婦人科・行政などと、ママ元気ネットワーク会議に参加し、今年度はとくに産後ケア事業・プレコンセプションケアについて、深堀の議論に参加しました。

(6) 学校保健事業

津市教育委員会及び三重県教育委員会等からの要請により、保育園・幼稚園、小中学校及び高等学校に医師（小児・内科・眼科・耳鼻科）を派遣し、児童生徒に対し日常の健康指導を行うとともに、学校職員の健康指導も行いました。校医・園医等の資質向上のための研修会は現地開催で開催し、学校保健の向上に努めました。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に変更されたことに伴い、令和6年度以降の健康診断は通常健康診断内容に戻して実施することとしました。また、児童生徒の健康管理の徹底を図るため、津市教育委員会と委託契約を締結し、小学1・4年生及び中学1年生を対象に心臓検診を行いました。小学校の就学時検診は、大部分の児童をサオリーナに2日に分けて来てもらい、一斉に健診をしました。保護者の評判も良く今後もこの形式で就学時健診を行う予定です。運動器健診と、小学校1年生、4年生、中学校1年生が対象の心臓検診も順調に経緯しており、成果を出しています。文部科学省や三重県医師会からの通知により、児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した健康診断となるよう、学校医と学校・幼稚園が相談して共通理解のもと実施しました。

新型コロナウイルス感染の流行以降、不登校傾向となる児童・生徒が増加していることもあり、児童・生徒の「からだ」の健康の経過観察はもちろん、「こころ」の健康の経過観察に力を注いでいます。

また、今後増加すると考えられる「医療的ケア児」の幼稚園・保育所への入園、学校への入学に際しての体制構築に関して、教育委員会や各園・各校と協議を引き続きすすめていきます。

(7) 救急医療事業

ア) 一次救急対策

津市応急クリニックは、三重大学附属病院高度救命救急センターから研修医や医学部生の実習の場として指導医とともに毎週木曜日に出務頂いておりましたが、令和8年度から毎週月曜日も加わり週2日体制（祭日等を除く）で担当頂くこととなり円滑な出務環境となりました。

また、令和6年の年末年始に多くの方が来られ応急クリニックが大変混雑したことから、令和7年度の年末年始は昼間の体制を2診体制として対応しており、住民が安心して健康が保たれる医療環境の提供ができるように努めました。今後も地域住民が安心できる診療体制の確保に努めてまいります。

- ① 成人の平日・日曜祝祭日・GW・お盆・年末年始の夜間診療（19:30～23:00）においてはこれまで通り津地区医師会と久居一志地区医師会合同で行います。
- ② 成人の日曜祝祭日・GW・年末年始の昼間診療（10:00～16:00）においては、「津市応急クリニック」は津地区医師会で「久居休日応急診療所」は久居一志地区医師会で運営しています。
年末年始の当番は、「津市応急クリニック」で行なっています。
- ③ 小児は、大里の「津市こども応急クリニック・休日デンタルクリニック」で、これまで通り津地区医師会と久居一志地区医師会の小児科医の先生方で運営されます。令和2年10月1日より受付時間に変更はありませんが、昼間の受付時間は、日曜日、祝・休日、12月31日～1月3日 10時～12時、13時～16時、夜間の診察受付時間は、毎日（365日）19時30分から22時30分で終了時間が23時までとなります。歯科診療は、これまで通り津市歯科医師会で運営されます。

イ) 二次救急医療対策

救急医療対策は喫緊の課題となっており、二次救急輪番病院は、永井病院、遠山病院、武内病院、岩崎病院、吉田クリニック、津生協病院、三重中央医療センターに、三重大学医学部附属病院が全日程に加わり輪番病院の強化が図られ、大門病院が輪番病院から外れました。また、輪番病院に加えて、三重病院、当医師会・久居一志地区医師会及び津市、三重県を構成メンバーとする二次救急医療体制協議委員会を設置し、救急医療対策の推進に努めてくとともに、より一層の輪番体制の強化に努め、地域の救急医療の要望に的確に答えて参ります。

ウ) 救急医療機関活動

救急医療対策を少しでも充実させるため、救急病院・救急診療所として告示した医療機関に対して救急隊により搬送される傷病対応にかかる経費の一部を助成しました。

(8) 介護保険制度円滑化対策事業

津市の要請を受け、介護保険認定審査会の委員に会員が就任するとともに、介護保険制度の円滑な運営支援を行いました。さらに、行政、介護事業者及び医師会のメンバーからなる介護保険事業推進懇談会に参加し、介護保険制度の課題について検討を行いました。

(9) 地域連携対策事業

高度化、専門化している今日の医療現場において、医療機関相互の役割に応じた連携がますます必要となっており、特に病院と各診療所との連携は重要であります。多くの病院から医師会理事として医師会活動に参画いただき、それぞれの病院機能に応じた連携が構築されています。また地域包括ケア委員会では津市在宅療養支援センターの事業を通して、久居一志地区医師会と協働して在宅医療・介護の地域連携をより確実なものとし、災害と事業継続計画、在宅における薬剤師・栄養師の機能、ACP、病院・在宅医療・介護連携につき研修を行うなど、日常の在宅医療に資する事業を継続的に行いました。

(10) 災害対策事業

当医師会は、津市地域防災計画の救護班としての役割を担っており、津市総合防災訓練への参画や津市消防本部との意見交換を重ねており、大規模災害救護医療に関する対策委員会を組織し、行政との一層の連携の下、大規模災害時における市民の生命の安全を確保するための対策を推進するために、災害時における救急医療体制の検討を進めております。救護所の設置予定箇所等も順次決まっております。

また、大規模災害メーリングリストやラインを活用して、災害発生時の会員の安否確認・救護所の開設や運営を調整する為の情報連絡ツールとして定期的に訓練を実施しています。

(11) 医療安全対策事業

平成 22 年度から久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会、県看護協会と合同で対策委員会を設置して 最新の知識を有している講師を招聘し、合同医療安全研修会を開催し中小の医療機関の医療安全の推進に努めてまいりました。現在は、日本医師会の医療安全推進者養成講座等を利用するよう方向転換を致しました。予防接種打ち間違い事故予防のための啓発を、津市と連携して行っています。

(12) 女性医師対策事業

現在医学部の学生は 1/3 以上が女性です。近い将来、B 会員のみならず A 会員の女性の割合は増加していくと思われます。結婚、出産、育児などのライフイベントに対応した労働環境の整備、休職、復職支援などの課題について、三重県医師会、日本医師会と連携し取り組んでまいります。

(13) 産業保健事業

産業保健活動総合支援事業により、従業員 50 人未満の小規模事業所の健康保持を担う地域産業保健センター事業を推進します。

これまで通り健康相談窓口、長時間労働者やストレスチェックテストで問題のあった労働者の面接指導、小規模事業場への個別訪問による産業保健指導などを推進していきます。特定健康相談は、延べ 112 名の先生に 6,400 件、長時間労働の面接は 1 名の先生に 1 件、訪問指導は 4 名の先生に 380 件行いました。種々の法律改正に伴い対応すべき事象が増加しております。化学物質リスクアセスメントの義務化、50 名未満の小規模事業所のストレスチェック義務化、熱中症対策の義務化、治療と就業の両立支援の推進、高齢労働者の安全と健康保持の推進、など今まで以上に産業医に求められる責務が高まっています。三重県医師会産業医部会で産業医研修連絡協議会との連携を図り、産業医に対する三重県産業保健研修会の受講を勧め、その資質向上を図り地域労働者の健康保持の増進に努めます。

(14) 医療関係団体等連絡調整事業

日本医師会及び三重県医師会との連携、並びに県内郡市医師会との情報交換を通じ、住民の健康を守るため、特に久居一志地区医師会とは津市 2 医師会連絡協議会を組織し、密接に連携して津市の保健事業を推進しました。また、津歯科医師会、津薬剤師会及び、久居一志地区医師会と共同で津市との政策懇談会を開き、市の健康福祉対策についての提言に対する意見交換会を行いました。

令和 7 年度地域の保健・福祉の向上による促進を図る事業の主な実績

(1) 医学教育事業

- ① 医学研修の充実と日本医師会生涯教育制度実践の強化
 - ・医学研修会等を 40 回開催（主催・共催 37 回、後援 3 回）
- ② 県医師会主催の産業医研修会への参加
 - ・産業医スキルアップ実施研修 2025 年 11 月 20 日

- ③ 会員の資質の向上と会の活性化を図るため、各科医会及び研修会及び班別に情報交換会を開催
- ・各科医会（9科）：整形外科、産婦人科、小児科、皮膚科、外科、耳鼻科、泌尿器科、眼科、内科
 - ・各班別（6班）：医師会内の地域を6地区に分けて班を構成

（2）健康啓発・広報事業

- ① 市民健康広場（健康イベント）
（令和7年度「おとな部会」2025年11月9日開催）
- ・市民健康広場（健康教育）委員会（2025.7.10 10.9 12.11 2026.3.12）
- ② 市民及び関係機関に関し、当医師会事業等の情報提供の状況
- ・当医師会のインターネットホームページを随時更新
医療機関紹介掲載：令和7年3月末現在176件（検索方法：診療科目）
 - ・各会員の近況報告、情報交換などを目的にした医療情報ネットワークの開設

（3）健（検）診事業

- ① 検診に関する下記の説明会・検討会・研修会

内 容	実施日
津市各種がん検診実施要領説明会	2025年6月17日（ハイブリット）
特定健診特定保健指導実施要領説明会	
津市国民健康保険特定保健指導（動機づけ支援）説明会	
津市特定保健指導研修会説明会	
津市胃がん検診二重読影にかかる研修会	2025年5月15日

内 容	実施日
津市2医師会連絡協議会成人保健事業担当部会	2025年4月16日 2026年1月14日
津市胃がん検診事業運営検討会	2025年12月25日
津地区医師会がん検診関係委員会（読影システム導入検討）	2025年7月3日

- ② 令和7年度の検診事業に向けて、津市2医師会連絡協議会の成人保険事業担当部会

- ③ 特定健康診査、後期高齢者健康診査、健康増進法健康診査及び各種がん検診を実施
（がん検診の種類）

胃がん（内視鏡、X線）、大腸がん、前立腺がん、肺がん（喀痰、X線）

乳がん（マンモ、エコー）、子宮がん（頸部、頸部＋体部）、肝炎ウイルス検査

（乳がん、肺がん及び胃がんの検診数）

- ・肺がん18,683件、乳がん5,220件
- ・胃がん（内視鏡）6,512件、胃がん（X線）1,546件

- ④ 肺がん検診読影会の開催状況

肺がん検診研修会（2025.6.5）

- ・読影会の回数：延べ14回

（2025.8月～12月の間毎月2回開催、2026.1～3月・4月の間毎月1回開催）

- ・講師人数：毎回、三重大学医学部附属病院の講師4名を招聘

〔健診受診者増加のため8月～12月は2グループに分けて実施〕

- ・読影に関して、デジタルデータ4台での二重読影と肺がんシャウカステン4台との同時読

- ⑤ 乳がん検診読影会の開催状況

- ・乳がん研修会の開催（2025. 5. 29） 出席者：25 名
- ・読影会の開催数：延べ 9 回（2025. 8～2026. 4 月の間毎月 1 回開催）
- ・講師人数：毎回、三重大学医学部附属病院の講師 2 名を招聘

⑥ 胃がん検診読影会の開催状況

胃内視鏡検査の二重読影はクラウドを使用し適宜行いました。

胃透視の読影会は月 1 回約 3 名の先生に二重読影を行っていただきました。

（内視鏡）胃がん検診（出席者 36 機関）・読影会の開催（講師人数 2 名）

（X線）胃がん検診（出席者 6 機関）・読影会の開催（講師人数 3 名）

⑦ 津市健康相談への医師派遣・協力状況

- ・津市健康づくり推進懇話会 2025 年 6 月 12 日、8 月 7 日 10 月 30 日 2026 年 1 月 29 日

（4）予防接種事業

内 容	実施日
予防接種協力医研修会の開催	2026 年 1 月 20 日
津市 2 医師会連絡協議会の予防接種事業担当部会	2025 年 8 月 8 日
津市 2 医師会連絡協議会予防接種担当部会ワーキング会議	2025 年 10 月 7 日
予防接種健康被害調査委員会	2025 年 6 月 6 日 9 月 22 日

（5）母子保健事業

① 健診事業

- ・津市 1 歳 6 か月児健診の実施状況

津市中央保健センター：医師 2 名 1～2 回/月 年 17 回

久居保健センター：医師 2 名 年間 15 回（津 2 名・7 回）

- ・津市 3 歳児健診の実施状況

津市中央医療センター：医師 2 名 1～2 回/月 年 18 回

久居保健センター：医師 2 名 年間 17 回（津 2 名・10 回）

- ・津市 3 歳児耳鼻科健診の実施状況

津市中央保健センター：医師 1 名 2 回/月 24 回（自宅アンケート確認含む）

② 事業会議・部会等

内 容	実施日
乳幼児健診部会・事例検討部会	（第一木曜日で 5 回開催）
2 医師会連絡協議会母子保健事業担当部会	2025 年 7 月 22 日 11 月 11 日
津市児童虐待防止等ネットワーク代表者会議	2025 年 6 月 10 日
5 歳児健診等に係る検討会	2025 年 8 月 22 日
5 歳児健診におけるフォロー個別相談	2025 年 11 月 11 日 12 月 11 日
第 2 回津市産後ケア事業協力機関連絡協議会	2026 年 1 月 27 日
津市医療的ケア児に関する共有会議	2026 年 2 月 9 日

（6）学校保健事業

① 津市内の児童生徒及び学校職員に対しての健康指導の実施状況

- ・学校の派遣数＝小学校（36 校）中学校（15 校）、幼稚園（10 園）
保育園（45 園）幼保（14 園）高校・養護（13 校）

- ・医師の派遣人数＝小児 内科（59名）、眼科（15名）、耳鼻科（14名）
- ② 津市内の児童生徒
- （対象：小学校1・4学年・中学校の1学年）転校者の心臓検診の状況
- ・受診人数＝小学校2,706名、中学校1,343名、合計4,049名
 - ・心電図判読の結果、有所見者数 小学校49名、中学校19名、合計68名
 - ・心電図判読会に出席した医師人数14名
- （判読委員会の開催＝2025.5.16 2025.6.16 の2回実施）
- ・所見者がいる学校の養護教諭に対する心電図説明会を実施（2025.6.30）
- 津市教育委員会は、有所見者が該当する学校長に対して「心電図検査所見者経過調査報告書」を作成し発送

内 容	実 施 日
津地区学校保健研修会	2026年1月27日
津地域就学時健康診断	2025年11月6日 11月20日
津市学校保健推進委員会	2026年2月5日
津市学校保健会総会	2025年6月19日

（7）救急医療対策事業

- ① 津市応急診療所の運営に関わる情報交換 2025.4.30 11.10 6.27
- ② 津市夜間応急診療所の医師派遣状況
 - ・津市応急クリニック（西丸の内550）
当会員協力医師数67名、久居一志地区医師会14名、非会員 1名
三重大学附属病院（毎週木曜日、年末年始等を除く）
 - ・津市こども応急クリニック・休日デンタルクリニック（大里窪田町）当会員協力医師数10名
（他に久居一志地区医師会及び三重大学附属病院並びに三重病院の医師も協力）津市歯科医師会医師
- ③ 津市応急診療所における休日（昼間）の診療
 - ・津市応急クリニック（西丸の内550） 当会員協力医師数59名、非会員1名
- ④ 5月連休・盆・年末年始の診療
昼、夜津市応急クリニック及び津市こども応急クリニック・休日デンタルクリニックにて診療
- ⑤ 二次救急関係
 - ・二次救急医療体制協議委員会 2025年5月20日, 2025年11月17日
構成団体：三重大学医学部附属病院、津地区医師会、三重中央医療センター、久居一志地区医師会並びに、永井・遠山・武内・岩崎・吉田・津生協・6病院の協力により休日及び平日夜間の病院群輪番制にて二次救急を実施
- ⑥ 津市・久居メディカルコントロール協議会 2026.2.19

（8）介護保険制度円滑化対策事業

- ① 津安芸介護認定審査会委員は昨年度に引き続き、津市の被保険者の要介護認定、要支援認定等に係る審査及び判定等を実施（委員の人数：当会員48名、任期：令和6～8年度の2年間）
- ② 介護保険事業等検討委員会（2025.7.17 11.14 2026.2.5）及び担当ワーキング会議
- ③ 介護体制提供部会

(9) 地域連携対策事業

① 在宅医療の充実・連携を図るための下記の委員会・研修会等の開催

内 容	実 施 日
津市在宅支援センター運営協議会	2025 年 7 月 4 日 2026 年 3 月 30 日
津市在宅医療介護ネットワーク会議	2025 年 7 月 11 日 2026 年 3 月 23 日

② 多職種連携研修会

テーマ	実施日	参加人数
「多死社会の中での病院機能に応じた病診連携地域医療, 介護連携退院支援と急変時の入院受け入れ」	2025 年 7 月 31 日	300 名
「その人らしさを尊重した看取りを目指して～本人と家族を支える ACP～」	2025 年 8 月 28 日	186 名
「自然災害発生時の業務維持計画 (BCP) を見直し準備を進めよう～平常時の対応について、今どのような準備をしていますか～」	2025 年 10 月 30 日	171 名
「在宅医療における薬剤師, 管理栄養士の役割を知り多職種連携を深めよう～利用者からの表現しづらい SOS に気づけていますか～」	2025 年 12 月 4 日	143 名

(10) 災害対策事業

津市が主催の下記会議

内 容	実施日
災害医療に係わる検討会議	2025 年 7 月 28 日 10 月 29 日 2026 年 3 月 27 日
津市防災会議	2026 年 1 月 30 日
津市総合防災訓練	2025 年 11 月 23 日
津市総合防災訓練に係る会議	2025 年 8 月 21 日 10 月 16 日 10 月 30 日
津市災害弔慰金支給審査委員会	2025 年 9 月 25 日
三重中央医療センター大規模災害訓練 (津市検証)	2025 年 9 月 28 日

三重県・県医師会他主催の会議訓練

内 容	実施日
県医師会災害・救急医療対策協議会	2026 年 3 月 12 日
都道府県災害医療コーディネーター研修	2025 年 10 月 19 日
三重県災害医療コーディネーター研修	2025 年 9 月 14 日
三重大学病院防災訓練	2025 年 10 月 4 日

津地区医師会委員会・訓練

内 容	実施日
津地区医師会大規模災害委員会	2025 年 9 月 17 日 10 月 30 日 11 月 3 日 12 月 3 日
ACLS 研修会	2026 年 2 月 26 日
大規模災害メーリングリスト訓練	2025 年 11 月 11 日 11 月 23 日 12 月 4 日 2026 年 3 月 18 日

当医師会として災害発生に備え、下記のものを準備

- ・当医師会からの支給された災害緊急連絡用携帯電話機を設置
電話携帯者：会長、災害担当委員長、事務室 防災無線電話 (津市より貸与)

- ・AED（半自動除細動機）1台（医師会館エントランス設置）
- ・防災用ビブス 医療機関（会員各1着）

（1 1）医療安全対策事業

定期的な講習会は中止していますが、日本医師会の医療安全推進者養成講座等で研修しました。

（1 2）産業保健事業

- ① 津地域産業保健センター運営協議会（2025. 9. 25）
 地域産業保健センター コーディネーター会議
 産業保健研修会（産業医・産業保健機能の強化などのストレスチェックへの対応）
 第45回産業保健活動推進全国会議に参加（2025. 10. 23）
- ① 津地域産業保健センター相談窓口の相談状況
 - ・特定健康相談（サテライト） 392件
 - ・長時間労働・高ストレス面談指導（サテライト）2件
 - ・個別訪問による産業保健指導 13件
 - ・コーディネーターによる事業場訪問件数 79件
 - ・産業医アンケート実施

（1 3）医療関係団体等連絡調整事業

津市との連携強化を図るため、下記の会議等に出席

- ・津市長と三師会との懇話会 開催日 2025. 10. 23

三師会構成団体：津地区医師会、久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会

（1 4）感染症対策事業

内 容	実 施 日
津地域感染症等危機管理ネットワーク会議	2026年1月22日
津新型インフルエンザ等対策検討	2025年12月23日

（1 5）その他

内 容	実 施 日
社会保険集団指導	2025年10月2日
津市国民健康保険運営協議会	2025年8月21日 2026年2月5日
地域医療支援病院運営委員会（三重中央医療センター）	2025年6月5日 9月4日 12月4日 2026年3月5日
令和7年度津シティマラソン実行委員会	2025年7月17日 2026年3月19日
第18回津シティマラソン2026医師の派遣	2026年2月8日
地域医療構想「意見交換会」	2026年2月2日
地域医療構想「調整会議」	2026年2月16日
津市自殺対策ネットワーク会議	2025年9月30日
津市地域連携ネットワーク会議	2025年7月10日

	2026 年 1 月 8 日
津市成年後見サポートセンター中核機関委員会	2025 年 6 月 12 日 9 月 11 日
津市糖尿病性腎症化予防事業に係る会議	2025 年 5 月 21 日 8 月 28 日 2026 年 1 月 28 日
津市社会福祉事業団評議委員会	2025 年 6 月 26 日
津市社会福祉協議会評議委員会	2025 年 6 月 23 日
津家庭裁判所委員会	2025 年 6 月 27 日 2026 年 1 月 28 日
津高齢者虐待防止等及び高齢者見守りに関するネットワーク全体会議	2026 年 2 月 6 日
三重パープルリボン ウォーク&セミナー2025in 津	2025 年 9 月 14 日
津地区医師会・津警察署意見懇談会	2025 年 9 月 25 日
地域難病相談会へ医師の派遣	2025 年 9 月 21 日
三重中央医療センター合同市民公開講座&ナイチンゲールフェア	2025 年 6 月 21 日
第 1 回津地区医薬品提供体制強化推進会議	2026 年 2 月 26 日
津地区医師会会費検討委員会	2025 年 8 月 7 日 10 月 9 日
津地区医師会定款改定委員会	2025 年 10 月 8 日

II 看護専門学校事業

看護を取り巻く環境は、近年の少子高齢化において、人々の健康に対するニーズや価値観の多様化・個別化する一方、医療の高度化・専門化・疾病構造などの変化が著しい中、それらに適切に対応できる質の高い看護師を養成し、地域の医療・保健・福祉の向上に寄与することを目的に事業を実施致しました。

〔事業の概要〕

全国的にも社会問題となっている看護師不足の現状を踏まえ、豊かな人間性あふれる専門職業人として、生涯にわたり自己研磨できる能力を備えるとともに、「和顔愛語（わけんあいご）」の精神をもって看護を実践できる看護師を育成してまいりました。

※ 和顔愛語とは、仏教用語で一般的に解釈すれば「優しい顔つきと温かい言葉」だが、本来この言葉は、単に顔つきと言葉遣いについて言っているものではなく、「何ものをも受け入れる寛容のこころと慈悲の愛にあふれた暖かい言葉（こころ）」、つまり、人は「利他のこころ」を備えるべきであることを表した言葉で、本校ではこの精神を全カリキュラムのなかに取り入れている。

※ 教育目標

- 1) 生命の尊厳・人格の尊重を基盤とした人間理解と病気や苦難の体験の意味を考えることのできる能力を養います。
- 2) 看護に必要な専門的知識、技術、態度を学び、応用できる能力を養います。
- 3) 看護師としての役割を理解し、多職種と連携しながら、多様な場で生活する人々へ看護を提供する基礎的能力を養います。
- 4) 看護師として人間関係を形成するために必要な感性とコミュニケーション能力を養います。
- 5) 自己成長のために自己研鑽できる看護師を育成します。

なお、令和7年度卒業生の就職状況は次のとおりでした。

卒業生 36名(内訳)

1. 津市内医療機関	22名
2. 津市以外の県内医療機関	14名
3. 進学	0名
4. 県外医療機関	0名

また、令和7年度の運営業務報告は次のとおりでした。

令和7年度三重看護専門学校の運営業務報告

【学校年間行事等】

- ・ 第22回入学式(2025.4.3) 第22期生 37名入学(男子3名、女子34名)
- ・ 新入生ガイダンス(2025.4.4)
- ・ 領域別実習始(3年生)(2025.4.7)
- ・ 地震避難訓練の実施(2025.4.7) 地震(津波)を想定して偕楽公園へ徒歩にて避難(1年生)
- ・ 前期授業始(2025.4.8)
- ・ 定期健康診断(1・3年生)(2025.4.9)
- ・ 新入生歓迎会(2025.4.10)
- ・ 日本学生支援機構在学採用説明会(2025.4.23) 3年生3名参加
- ・ 奨学金説明会(日本学生支援機構・三重県看護師等修学資金)(2025.4.28) 1年生12名、2年生8名参加
- ・ 1年生親睦会を実施(2025.5.9)
- ・ 第1回オープンキャンパス開催(2025.5.25) 来場者数58名
- ・ 日本学生支援機構奨学金採用時(高校予約)説明会(2025.6.3)
- ・ 津地区医師会奨学生募集説明会(2025.7.7) 2医療機関 1年生19名、2年生22名出席
- ・ 研修旅行(2025.7.9) 2年生 37名参加 神戸市「人と防災未来センター」他
- ・ 1年生防犯教育・防火訓練の実施(2025.7.24)
- ・ 日本学生支援機構給付奨学金採用時説明会(2025.7.25)
- ・ 日本学生支援機構貸与奨学金採用時説明会(2025.7.30)
- ・ 夏季休業(2025.8.1～2025.8.31)
- ・ 第2回オープンキャンパス開催(2025.8.3) 来場者数113名
- ・ 豊野みかんの里夏祭りボランティア 3年生5名参加(2025.8.3)
- ・ 鈴鹿厚生病院夏祭りボランティア 1年生10名参加(2025.8.7)
- ・ 第3回オープンキャンパス開催(2025.8.23) 参加者数86名
- ・ 日本学生支援機構貸与奨学金採用時説明会(2025.9.2)
- ・ 日本学生支援機構給付奨学金採用時説明会(2025.9.3)
- ・ 学生防災委員物品搬出訓練(2025.9.3)
- ・ 日本学生支援機構給付奨学金採用時説明会(2025.9.4)
- ・ 日本看護学校協議会中堅期看護教員スキルアップ研修会(2025.9.9) 1名受入
- ・ 領域別実習終了(3年生)(2025.9.12)
- ・ 基礎看護学実習I-1(2025.9.18)
- ・ 定期健康診断(2年生)(2025.9.26)
- ・ 前期授業終(2025.9.30)

- ・ 後期授業始 (2025. 10. 1)
- ・ 看護の統合実習 (2025. 10. 2～10. 17)
- ・ 基礎看護学実習Ⅰ-2 (2025. 10. 17～10. 24)
- ・ 鈴鹿厚生病院 病院祭ボランティア 3年生5名参加 (2025. 10. 25)
- ・ 基礎看護学実習Ⅱ (2025. 10. 27～11. 13)
- ・ 日本学生支援機構返還説明会 3年生5名参加 (2025. 10. 29)
- ・ 日本学生支援機構返還説明会 3年生1名参加 (2025. 10. 31)
- ・ 第39回市民健康広場ボランティア 1年生15名参加 (2025. 11. 9)
- ・ 学生主催スポーツ大会 2年生参加 (2025. 11. 27)
- ・ 交通安全教育・地震避難訓練 全学年参加 (2025. 12. 11)
- ・ クリスマス会 (2年生) (2025. 12. 12)
- ・ クリスマス会 (3年生) (2025. 12. 15)
- ・ 冬季休業 (2025. 12. 25～2026. 1. 7)
- ・ 三重県専任教員養成講習会教育実習生3名受入 (2026. 1. 5～1. 23)
- ・ 日本学生支援機構貸与奨学金適格認定説明会 (2026. 1. 14) 1年生8名、2年生8名参加
- ・ 領域別実習始 (2年生) (2026. 1. 6～3. 6)
- ・ 日本学生支援機構貸与奨学金適格認定説明会 (2026. 1. 21) 2年生3名参加
- ・ 同窓会説明 (3年生) (2026. 1. 21)
- ・ 日本学生支援機構貸与奨学金適格認定説明会 (2026. 1. 23) 2年生5名参加
- ・ 看護師国家試験壮行会 全学年 (2026. 2. 4)
- ・ 第115回看護師国家試験 (2026. 2. 15) 卒業予定者36名受験
- ・ 令和7年度日本学生支援機構奨学業務連絡協議会 (2026. 2. 17)
- ・ 第20回卒業式 (2026. 3. 5) 卒業生36名 (女子36名、男子0名)
- ・ 三重看護専門学校同窓会総会 (2026. 3. 13)
- ・ 実習室備品点検 (2026. 3. 17)
- ・ 図書(蔵書)点検 (2026. 3. 17)
- ・ 1年生スポーツ大会 (2026. 3. 24)
- ・ 第115回看護師国家試験合格発表 (2026. 3. 24) 卒業生36名受験 36名全員合格 (合格率100%)
- ・ 春季休業 (2026. 3. 25～4. 7)

【第23期生 令和8年度学生募集】

- ・ 三重県内公立・私立高等学校77校へオープンキャンパスポスターを送付 (2025. 4. 14)
- ・ 津地区医師会各医療機関へ学校案内パンフレット、オープンキャンパスポスター、チラシ送付 (2025. 4. 21)
- ・ 令和8年度学生募集要項出来上がる (2025. 5. 9)
- ・ 業者主催の進学相談会に参加 (2025. 4. 22、5. 16、6. 4、6. 5、6. 10、6. 17、6. 18、6. 23、10. 1、12. 11)
- ・ みえ看護フェスタ2025 11組来ブース (2025. 5. 10)
- ・ 第1回高校訪問 (2025. 6. 4～6. 20) 三重県内公立・私立高等学校32校を訪問
- ・ 三重県内高等学校45校に学生募集要項、学校案内、オープンキャンパスチラシ送付 (2025. 6. 13)
- ・ 学校推薦・自己推薦・社会人A日程入学試験願書受付 (2025. 9. 18～9. 30) 出願者：57名
- ・ 学校推薦・自己推薦・社会人A日程入学試験実施 (2025. 10. 4) 受験者：57名
- ・ 学校推薦・自己推薦・社会人A日程入学試験合格発表 (2025. 10. 14) 合格者：38名
- ・ 一般(前期)入学試験願書受付 (2025. 10. 15～11. 7) 出願者：25名
- ・ 一般(前期)入学試験実施 (2025. 11. 15) 受験者：24名

- ・ 一般（前期）入学試験願書合格発表（2025. 11. 25） 合格者：7 名
- ・ 学校推薦・自己推薦・社会人B日程入学試験願書受付（2025. 11. 25～12. 8） 出願者：12 名
- ・ 学校推薦・自己推薦・社会人B日程入学試験実施（2025. 12. 13） 受験者：12 名
- ・ 学校推薦・自己推薦・社会人B日程入学試験合格発表（2025. 12. 22）合格者：1 名（補欠合格者：1 名）
- ・ 一般（後期）入学試験願書受付（2026. 1. 13～2026. 2. 13） 出願者：5 名
- ・ 一般（後期）入学試験実施（2026. 2. 20） 受験者：5 名
- ・ 一般（後期）入学試験合格発表（2026. 3. 2） 合格者：0 名（補欠合格者：1 名）

【諸会議等】

- ・ 運営会議 8 回開催（2025. 5. 27、7. 23、9. 24、11. 19、12. 25、2026. 1. 21、2. 24、3. 25）
- ・ 教務会議 11 回開催（月 1～2 回程度開催）
- ・ 職員会議 1 回開催（2025. 4. 2）
- ・ 学債委員会 2 回開催（2025. 9. 10、2026. 2. 4）
- ・ 自己点検・評価委員会 1 回開催（2026. 3. 12）
- ・ 入学試験委員会 6 回開催（2025. 9. 24、10. 7、11. 19、12. 17、2026. 2. 24、3. 25）
- ・ 学生委員会 1 回開催（2026. 3. 12）
- ・ 学校関係者評価委員会 1 回開催（2026. 3. 17）
- ・ 入試編成・検討委員会 2 回開催（2026. 1. 21）

【その他主な学校業務等】

- ・ 令和 7 年度三重県看護学校校長会 総会（2025. 6. 26）
- ・ 東京アカデミー国家試験対策特別講義 3 年生（2025. 10. 27、10. 28、10. 31、11. 7、11. 13、11. 14、11. 17）
- ・ 国家試験対策特別講義 3 年生（2026. 1. 15、1. 28）
- ・ 三重県看護学校校長会専任教員養成講習会閉講式出席（2026. 2. 20）
- ・ 東京アカデミー国家試験対策特別講義 2 年生（2026. 3. 23、3. 24）

Ⅲ 地域包括支援センター事業

地域包括支援センターは地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士が相互連携しつつ業務を行います。

津市では、令和 2 年 4 月より 1 か所新設され市内 10 か所となっています。当包括支援センターは平成 21 年 8 月から委託を受けていますが、令和 2 年度から担当地域が橋北・東橋内地区から橋北・北郊地区に変わり、引き続き担当地域の高齢者に対して、心身の健康の保持並びに生活の安定を図るため事業の実施に当たってきました。

【事業の概要】

令和 7 年は西暦 2025 年であり、団塊の世代が 75 歳の後期高齢者になり高齢者が急増と言われていた年で相談件数も年々増加しています。地域との連携ができており、健康講話などの依頼や健康教室、地域ケア会議も例年通り開催できました。ただ、令和 5 年度から職員 4 名が入替わり職員の経験が浅く、相談業務と指定介護予防支援事業の両立が難しく、指定介護予防支援事業は委託する件数が多くなりました。

研修会等は参集や WEB などにより、参加しました。

（1）介護予防ケアマネジメント事業

介護予防に関する知識の普及・啓発を図り、パンフレットの作成をしました。老人会や地域のサロン等

から健康講話の依頼を受け介護保険や体操などを行いました。「包括だより」を3回発行し地域に回覧をしました。白塚地区社協より、年間3回発行の「白塚社協だより」への掲載依頼があり、介護予防などについて掲載させていただきました。

橋北地区のスクエアステップ教室、ダンス教室、地域の健康教室等は、事故や感染症に留意しながら通年開催することができました。

(2) 総合相談支援事業

地域に住む高齢者および親族等の相談に応じ、どのような支援が必要か把握し、地域における適切なサービス、関係機関および制度の利用につなげる等の支援に取り組みました。高齢者を取り巻く問題も多様化しており、多職種の方との連携が必要になってきています。

判断能力が低下した高齢者の状況を把握し、成年後見制度や自立支援事業の利用を勧めました。また、虐待の報告や相談を受け、状況確認や面談を行うなど虐待防止に努めました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための連携体制づくりとして、津市在宅療養支援センターや関係機関と共に在宅医療・介護連携に取り組みました。また、圏域内の居宅介護支援事業所を対象に、事例検討会を開催し、介護支援専門員が抱える支援困難事案について後方支援を行いました。

(4) 指定介護予防支援事業

要支援者に対する介護予防サービス計画の作成とサービス提供の調整を行いました。

また、居宅介護支援事業所と連携を図り介護予防サービス計画の委託を行いました。令和6年度より、居宅介護支援事業所が申請をすることで指定予防支援事業所を兼ねることができるようになり、介護予防支援の委託者数は横ばいとなりました。

(5) その他の事業

- ・多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築や地域ケア会議を開催しました。
- ・地域で認知症を理解し、認知症とその家族を見守る認知症サポーターの養成講座を開催しました。特に白塚地域では、地区社協と協力し、各サロンや小学校、自治会長、民生児童委員に向け、認知症予防についての講話をしました。
- ・津市内地域包括支援センターの合同行事に参加、津市内の地域包括支援センターとしての統一を図りました。
- ・平成29年度から「津市認知症施策総合推進事業」の委託を受け、「認知症地域支援推進員」としての活動をしました。

令和7年度地域包括支援センターの主な事業実績

(1) 介護予防ケアマネジメント事業

【当包括主催事業】

・ダンス教室（毎月1回）	開催回数	12回	参加者数	延 227 人
・スクエアステップ（毎月1回）	開催回数	11回	参加者数	延 242 人
・上浜団地健康教室（毎月1回）	開催回数	12回	参加者数	延 59 人
・「包括だより」発行（4月、8月、12月）				

【健康教室依頼事業】

- ・12 団体 延 15 回 延 266 名
- ・「白塚社協だより」掲載（7 月、12 月、2 月）
- （2）総合相談支援事業
 - ・相談件数 延 3,814 件
 - ・虐待対応 3 件
 - ・アウトリーチ 10 件
 （支援が必要であるにもかかわらず支援につながっておらず、働きかけているケース）
- （3）包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
 - ・津市在宅医療・介護連携の推進 部会・研修会 9 回参加
 - ・担当地域内居宅会議支援事業所意見交換会 2 回開催
 - ・ケアマネ後方支援 5 件
- （4）指定介護予防支援事業
 - ・直営予防ケアプラン作成件数 延 220 件
 - ・委託予防ケアプラン件数 延 2,591 件
- （5）その他の事業
 - ・他職種協働による地域包括支援ネットワークの構築
 - ・地域ケア会議 10 回開催
 - ・民生・児童委員定例会参加 2 地域 5 回
 - ・認知症サポーター養成講座 4 団体に対し 4 回開催 延 110 名参加
 - ・地域密着型事業所運営推進会議出席 5 施設 6 回
 - ・24 時間体制携帯電話設置
 - ・津市内地域包括支援センターセンター長会議（年 6 回）
 - ・津市内地域包括支援センター各職種専門部会（3 職種各年 4～6 回）
 - ・津市内地域包括支援センター研修会（年 2 回）
 - ・津市内地域包括支援センター予防プラン検証会議（年 1 回）
 - ・認知症地域支援推進員活動
 - ・認知症地域支援推進員会議（12 回）
 - ・認知症カフェ参加（15 回）
 - ・認知症サポーターステップアップ講座（3 回）
 - ・チームオレンジ・あしたば全体会（2 回）
 - ・認知症普及啓発活動（4 回）
 - ・認知症事例相談会・世話人会（8 回）
 - ・中勢認知症集団会・世話人会（2 回）

IV 介護支援事業

超高齢社会の進展により、家庭で療養する高齢者が増加し、在宅・介護のニーズや、がん末期患者のターミナルケア等の在宅療養のニーズの増加に対応するため、当医師会は平成 4 年に県下で初めて訪問看護ステーションを立ち上げました。更に、平成 12 年に居宅介護支援事業も開始するとともに、当医師会においては、在宅医療を担う医療機関の機能強化や多職種を含めた連携の重要性から在宅医療委員会を立ち上げ、増大している在宅医療に適確に対応するため、当訪問看護ステーション事業と居宅介護支援事業はその要として、大きな役割を担ってきました。

なお、在宅医療・看護を「住み慣れた地域での生活を支える」という共通の目的を達成する手段と位置付けられることから、在宅医療と看護を一つの事業として実施してきました。

〔事業の概要〕

（１）訪問看護ステーション事業

訪問看護は、高齢になっても健康管理をして自分らしく暮らしたい 病気や障がいがあっても、がん・老衰などで終末期になっても、住み慣れたご自宅で生活したい、できれば看取りもかなえたい そんなご本人やご家族の思いを、医師の指示を受け療養生活の援助・指導・医療的処置・終末期医療及びリハビリテーション等を看護師がご自宅に訪問して行う支援サービスです。

又、地域の看護教育支援のため、三重県立看護大学、三重看護専門学校の看護実習生を受け入れ、併設の介護支援センターとともに人材育成に貢献しております。

（２）居宅介護支援事業

介護支援センターは、介護支援専門員（ケアマネージャー）が介護保険の要介護認定者に対して自宅において必要な居宅サービスを適切に利用できるように心身の状況等を勘案して「居宅サービス計画（ケアプラン）」を作成しその計画に従ったサービスが提供されるように「サービス担当者会議」の開催など事業者等との連絡調整を行っています。なお、当医師会の運営であることや介護支援専門員が保健師の資格を有していることなどから、医療依存度の高い相談が寄せられることが多く常に利用者の立場に立ち、公正かつ誠実に対応し、医療機関等と綿密に連携して居宅サービス計画を作成して参ります。

また、財団法人介護労働安定センターが行う介護職員基礎研修会へ介護支援専門員を講師として派遣するなど、介護に係る人材育成に寄与するとともに、当医師会訪問看護ステーションと同様に看護学校の実習生受け入れを行い看護師の養成にも貢献しております。

令和７年度訪問看護ステーション事業実績報告

会議

- ・担当理事に事業実績報告（毎月第２木曜日）
- ・月例ステーション会議（毎月第２金曜日）
- ・三重県訪問看護ステーション津地区管理者会議（毎月第３水曜日）
- ・津地区医師会管理者連絡会議（２回/年）
- ・高齢者虐待防止検討委員会（２回/年）
- ・地域ケア会議
- ・感染症対策委員会（２回/年）
- ・事例検討会（毎月）

研修会

- ・職業倫理と法例遵守
- ・地域権利擁護支援研修
- ・高齢者虐待防止措置研修
- ・暴力・ハラスメント対策研修
- ・看護師職能Ⅱ交流集会「カスタマーハラスメントについて」
- ・認知症の方の意思決定支援研修
- ・津市認知症施策総合推進事業「BPSD トータルケア」
- ・BCP 研修（災害・感染症）と検証、BCP フォローアップ研修・机上と実施訓練
- ・感染症の予防・食中毒の予防まん延防止研修・実施訓練
- ・多職種連携研修会

- ・地域連携研修会
- ・三重県訪問看護ステーション協議会研修
- ・三重県看護協会研修
- ・三重大学医学部附属病院主催 緩和ケアセミナー
- ・三重県難病研修会
- ・リカレント事業研修「呼吸困難ケア」
- ・医療措置協定締結医療機関における研修、訓練

その他

- ・健康診断
- ・三重看護専門学校実習生受け入れ
- ・夏の交通安全週間の参加、交通運動キャンペーンの協力
- ・介護給付費算定に係る体制届提出
- ・訪問看護、介護予防訪問看護指定更新届出
- ・訪問看護（予防）指定更新に伴う運営規程の提出
- ・ベースアップ評価料令和6年度報告書届出
- ・生活保護法等指定医療機関指定更新届出
- ・令和7年度基準等実施状況報告書提出
- ・介護サービス情報報告
- ・賃金改善計画書提出
- ・津市物価高騰対策支援金の申請
- ・三重県物価高騰対策支援補助金申請
- ・マイナ保険証の利用促進協力金の申請
- ・生産性向上、職場環境整備等支援事業補助金申請
- ・医療措置協定実施状況等（G-MIS）
- ・介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業申請
- ・診療所等賃上げ支援事業給付金交付申請
- ・ケアプランデータ連携の申請
- ・三重県介護事業所サービス継続支援事業補助金申請

（運営状況）

職員（看護師3名 事務員1名） パート看護師1名退職
 利用者数 延べ410 名（医療97名 介護313名）
 訪問回数 延べ1931 回（医療663 回 介護1268 回）
 休日訪問 医療60回 介護22回
 緊急訪問 22回
 サービス担当者会議 42回
 退院時共同指導カンファレンス 8回
 在宅患者緊急時カンファレンス 8回
 ターミナルケア 5名
 エンゼルケア 5名

令和7年度居宅介護支援センター事業報告書

会議

- ・担当理事に事業法報告(毎月第2木曜日)
- ・月例ケアマネ「カンファレンス(国保連に伝送後・毎月10日前後)
- ・b c p研修(随時：今年度2回開催)
- ・地域ケア会議

研修会

- ・防災訓練 伝言ダイヤル171練習
- ・令和7年災害時情報共有システム報告訓練実施
- ・介護保険サービス事業者等集団指導
- ・第2回津地区医師会虐待防止・ハラスメント委員会
- ・BCP研修
- ・施設見学：シルバータウン新町
- ・実際に合ったカスタマーハラスメントの対応
- ・第2回多職種連携研修会
- ・令和7年介護保険サービス事業者等集団指導出席確認届け
- ・防災訓練171練習
- ・虐待ハラスメントアンケートと送付
- ・インシデントプロセス訪による間アセスメント事例検討会
- ・デイサービス見学：いこいの里デイサービス
- ・フランスベッド研修会
- ・施設見学：有料老人ホーム「リホープ」
- ・職員間のパワハラと利用者・家族と職員との「カスタマーハラスメント」について
- ・「津のわ」の会議
- ・津市認知症施策総合推進事業「BPSDトータルケア」
- ・地域連携研修会「心不全の緩和」
- ・BCPフォローアップ研修
- ・令和7年地域権利擁護支援研修
- ・BCP訓練
- ・津市居宅介護支援事業所指定更新届け
- ・ケアプランデータ連携
- ・津地区医師会虐待防止検討委員会
- ・地域連携研修会
- ・ケアプランデータ連携システム研修

その他

- ・三重看護専門学校 地域・在宅看護方法論Ⅲ 講師
 - ・三重看護専門学校実習補助
 - ・認定調査実施状況(令和7年度) 42件(伊賀市・名張市・桑名市・渡会広域連合等)
- 職員 介護支援専門員 3名(保健師1名 主任介護支援専門員1名 介護福祉士1名)
- 要介護プラン 1201件

要支援プラン 109 件(外部委託：71・内部委託 188)
サービス担当者会議 171 件
リハビリ会議 44 件
医療連携 30 件

V 会館利用状況

当医師会館の一部を、産業保健センターの事務室として長期貸し出しをするとともに、講堂、会議室等を医療関係者が必要とする場合個別貸し出しをし、使用に必要な備品についても貸し出しました。

[主な貸出状況]

- ・年間契約による貸出状況 津地域保健センター
- ・個別貸出（講堂等）状況

令和7年度の貸出として外部貸出6件、包括支援センターへのダンス教室・スクエアステップ教室等の貸出となりました。

VI 相互扶助事業

- (1) 全会員に対して医師会の情報提供及び連絡調整を行いました。

[主な事業実績]

- ・毎月発行の「安の津医報」で会員相互の情報交換の案内
- ・県医師会広報への協力
- ・地域別班活動の調整事業

- (2) 会員の相互扶助と福祉増進に努めました。

[主な事業実績]

- ・会員及びその家族への慶弔
- ・会員及びその家族が参加し、研修旅行を実施
- ・各種クラブへの助成
- ・医師国民健康保険組合の健康診断料の一部助成